



せん定は、全体のバランスを考えて

～みどりの講習会『せん定実技教室』～

3月23日(土)、幸町の『クリンクルセンター市民ギャラリー』で、みどりの講習会『せん定実技教室』が行われ、市民40人が参加しました。

参加者は、講師の小笠原春一さん(室蘭高等技術専門学校機動職訓練造園科講師)から、市が市民向けに作成している『みどりマニュアル』をテキストに、せん定の目的や、せん定期期、むだな枝の見分け方などの説明を受けた後、早速用意されたモミジやツツジ、イチイ、五葉松の4種類の枝を使い、全体のバランスを考えながら、慎重にはさみをいれていました。



身近なところから始めようボランティア

～ヤングボランティアフォーラム2002～

3月23日(土)、登別市総合福祉センターしんた21で、登別市ボランティアセンター主催による『ヤングボランティアフォーラム2002』が行われ、中学生と高校生50人が参加しました。

このフォーラムは、ボランティア活動に取り組む高校生が実行委員会を結成して行われたもので、講師に招かれた紋別市社会福祉協議会の篠原辰二さんは「だれかのために奉仕するのではなく、身近なところから始める自発的な行動がボランティアの第一歩。人との出会いを大切に」と講演。

講演に続き実行委員が演ずるボランティアをテーマにした劇が上演された後、参加者は、活動のきっかけやボランティアの心構えなどについて熱心に意見交換をしました。



登別から北海道を変えよう

～登別青年会議所創立30周年記念事業～

4月13日(土)、登別温泉町の第一滝本館で、登別青年会議所の主催による田中康夫長野県知事の講演会が開かれました。

この催しは、さまざまなイベントの開催などを通してまちづくりに参画してきた登別青年会議所の創立30周年を記念して行われたもので、道内から約550人が参加しました。

文藝賞受賞作『なんとなくクリスタル』をはじめ数多くの著作の作者でもある田中知事は、一昨年の知事就任以来、『脱ダム宣言』や『ガラス張りの知事室』などの施策で話題を呼んでいます。

『しなやかな革命～長野から日本を変える。登別から北海道を変えよう～』と題して行われたこの日の講演で、田中知事は



「長野では住民が意見を言える場がある。登別や室蘭でも今後不安を感じたら、政治を特別なものと思わず、自分たちで変えるという意識が大切」とステージを降りて熱く訴え、会場から大きな拍手が送られていました。

カラフルなこいのぼりができたよ

～親子こいのぼりづくり～

4月13日(土)、文化伝承館で体験学習『親子こいのぼりづくり』が行われ、大人6人、子ども6人の計12人が参加しました。

参加者は、郷土資料館ボランティア『SLG』の指導を受けながら、緋鯉や真鯉にかたどったカラービニールに、うろこや目などを思い思いに描き、吹流しなどと一緒に高さ約50センチの木製スタンドに飾り付けました。

お母さんと妹の3人で参加した登別小学校4年の木村莉奈さんは、いろいろな色の油性フェルトペンを使ってカラフルなこいのぼりを完成させ、「家の玄関に飾りたいです」と満足そうな笑顔で話していました。

